

# 2018年度第1四半期決算説明資料

証券コード：5332

2018. 07. 31

# 2018年度第1四半期決算概要

## ハイライト

**増収。積極投資等により減益。**

**グローバル住設事業（日本）：減収減益**

◆リモデルは増収減益。新築は減収減益。

**グローバル住設事業（海外）：増収・利益横ばい**

◆中国事業は引き続き好調、増収増益。

◆アジア、米州が減収減益。

**新領域事業：増収・利益横ばい**

◆セラミック事業は引き続き需要が強く、増収増益。

# 2018年度第1四半期決算概要

## P/L概要

単位：億円

	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)		
売上高	1,316	1,324	+8 (+1%)	▲1	+9 (+1%)	1,337	▲13 (▲1%)
営業利益 [営業利益率]	69 [5.3%]	63 [4.8%]	▲6 (▲9%)	+0	▲6 (▲10%)	62 [4.7%]	+1 (+2%)
経常利益	83	80	▲3 (▲3%)	+4	▲7 (▲8%)	71	+9 (+12%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	48	48	+0 (+0%)	+3	▲3 (▲7%)	38	+10 (+26%)

### ■為替レート

	2017年度1Q	2018年度1Q	2018年度計画
1ドル	113.6円	108.2円	106.0円
1元	16.6円	17.0円	17.0円
1ユーロ	121.1円	133.1円	133.0円

# 2018年度第1四半期決算概要

## セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	950	944	▲6 (▲1%)		▲6 (▲1%)	960	▲16 (▲2%)
住設事業 (海外)	303	307	+4 (+1%)	+1	+3 (+1%)	304	+3 (+1%)
新領域	62	72	+10 (+15%)	▲2	+12 (+18%)	71	+1 (+1%)
その他	0	0	▲0		▲0	0	+0
合計	1,316	1,324	+8 (+1%)	▲1	+9 (+1%)	1,337	▲13 (▲1%)

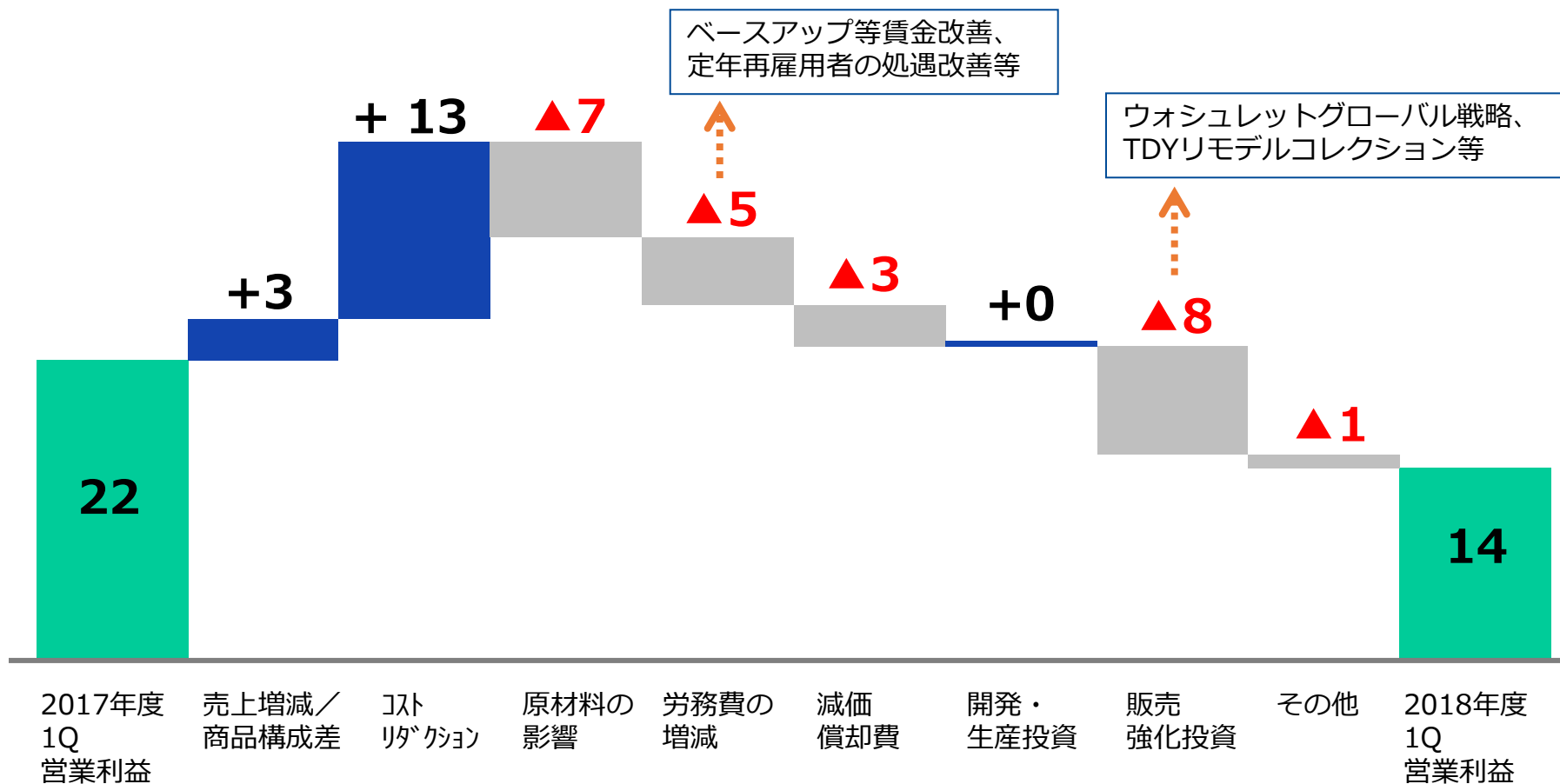
<営業利益>	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	22	14	▲8 (▲34%)		▲8 (▲34%)	18	▲4 (▲18%)
住設事業 (海外)	56	56	+0 (+1%)	+1	▲1 (▲1%)	52	+4 (+8%)
新領域	▲0	0	+0 (-)	▲0	+0 (-)	0	+0
その他	▲7	▲8	▲1		▲1	▲8	+0
合計	69	63	▲6 (▲9%)	+0	▲6 (▲10%)	62	+1 (+2%)

# 2018年度第1四半期決算概要

## グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲8億円の内訳）

単位：億円



計画差	▲5	▲1	▲1	+0	+1	+1	+0	+1	▲4
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

# 2018年度第1四半期決算概要

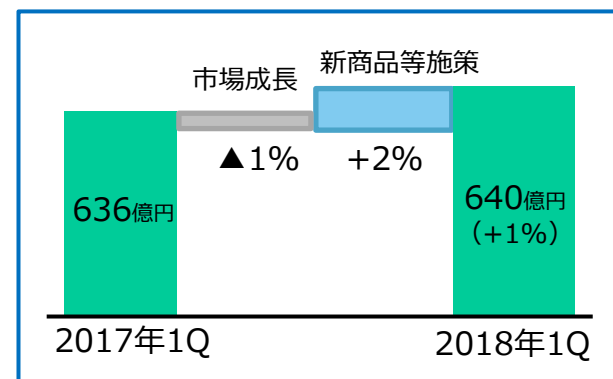
## グローバル住設事業（日本）

### 需要別実績

単位：億円

#### <リモデル>

	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	636	640	+4 (+1%)
営業利益	17	12	▲5 (▲32%)
営業利益率	3%	2%	▲1pt



#### <新築>

	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	313	304	▲9 (▲3%)
営業利益	4	2	▲2 (▲41%)
営業利益率	2%	1%	▲1pt

【需要】		着工
	住宅	▲5%
↓		
【売上高】		合計
	住宅	▲4%
	非住宅	▲1%

リモデルは増収減益、新築は減収減益。

リモデルは継続して市場が停滞。新築(住宅)は需要並みとなった。

# 2018年度第1四半期決算概要

## グローバル住設事業（日本）

### 商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)
衛生陶器	183	186	+3 (+2%)	2	2	+0 (+15%)
ウォシュレット	199	199	+0 (+0%)	16	16	+0 (+1%)
水栓機器	204	205	+1 (+0%)	7	6	▲1 (▲10%)
浴室	240	236	▲4 (▲2%)	4	1	▲3 (▲65%)
キッチン・洗面	104	99	▲5 (▲5%)	▲6	▲5	+1
その他	17	17	▲0 (▲2%)	▲2	▲6	▲4
合計	950	944	▲6 (▲1%)	22	14	▲8 (▲34%)

衛生陶器が引き続き好調。キッチン・洗面は体質改善により赤字幅縮小。

# 2018年度第1四半期決算概要

## グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2017年度1Q	2018年度1Q	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	150	160	+10 (+6%)	+6 (+4%)
アジア	67	64	▲3 (▲5%)	▲3 (▲4%)
米州	75	73	▲2 (▲3%)	+2 (+2%)
欧州	9	9	+0 (+6%)	▲1 (▲3%)
合計	303	307	+4 (+1%)	+3 (+1%)

営業利益	2017年度1Q	2018年度1Q	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	39	43	+4 (+11%)	+3 (+8%)
アジア	13	13	▲0 (▲3%)	▲0 (▲4%)
米州	5	3	▲2 (▲46%)	▲2 (▲41%)
欧州	▲2	▲3	▲1	▲1
合計	56	56	+0 (+1%)	▲1 (▲1%)

中国は引き続き好調、海外全体では増収利益横ばい。



# 2018年度第1四半期決算概要

## 現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

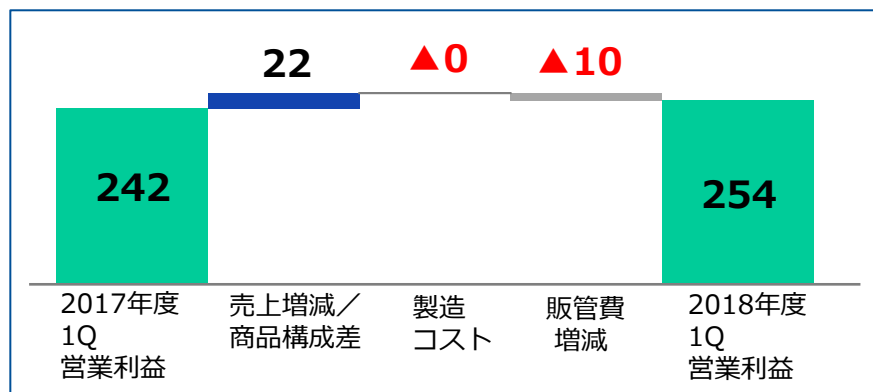
P / L

単位：百万元

	2017年度1Q	2018年度1Q	前年差 (前年比)
売上高	899	936	+37 (+4%)
営業利益	242	254	+12 (+5%)
営業利益率	27%	27%	+0pt

### 営業利益の増減要因

単位：百万元



為替レート	2017年度1Q	2018年度1Q	2018年度計画
1元	16.6円	17.0円	17.0円

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は  
前年同期比▲13%

⇒小売向け新商品立上げ遅れにより第2四半期にマイナス影響

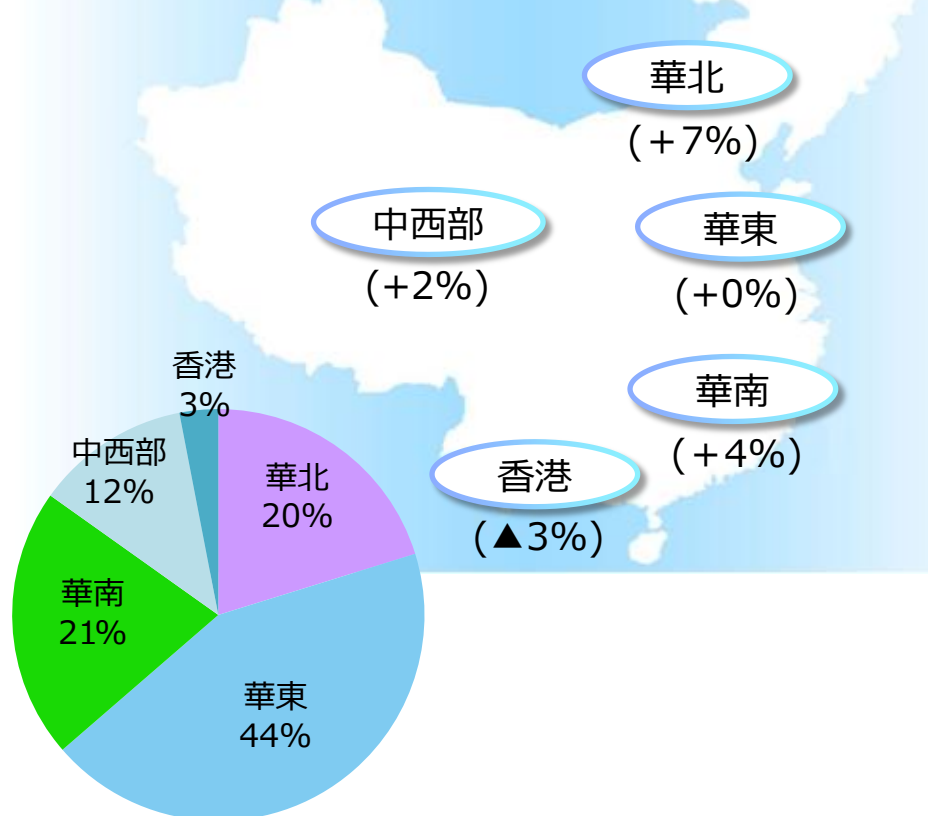
引き続き、増収増益。

# 2018年度第1四半期決算概要

## 現地グループ会社の業績（中国）

### ■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+4%（現地通貨ベース）

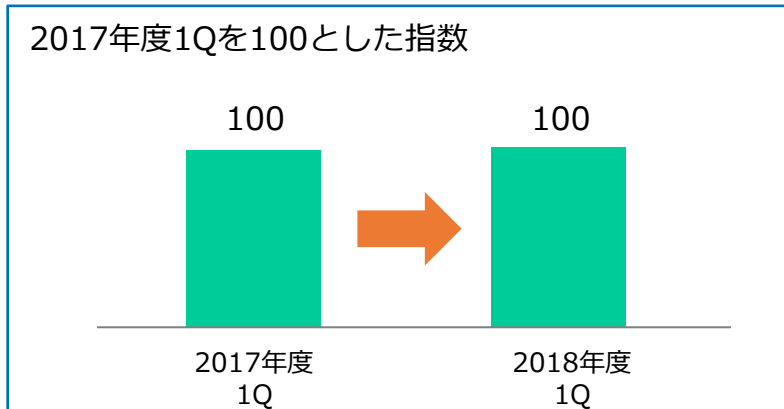


### ■ 地域別の売上高構成比

### ■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+10%
ウォシュレット	+10%
水栓金具	▲11%

### ■ ウォシュレットの販売台数伸長



ウォシュレット一体形は順調であったものの、集約物件向けのシートタイプが前年を下回ったため、全体として台数は前年並となった。

衛生陶器とウォシュレットが前年伸長。

# 2018年度第1四半期決算概要

## 現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

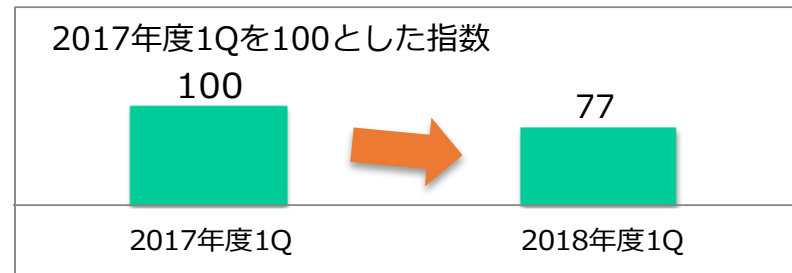
※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

単位：百万台湾ドル

台湾	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	944	823	▲121 (▲13%)
営業利益	254	244	▲10 (▲4%)
営業利益率	27%	30%	+3pt

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は、前年同期比▲0%

### ■ウォッシュレット販売台数の伸長



※ウォッシュレット：17年度第4四半期伸長（+64%）からの反動により一時的に減少

為替レート	2017年度1Q	2018年度1Q
1台湾ドル	3.66円	3.71円

単位：10億ドン

ベトナム	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高 [外部顧客売上高]	559 [297]	680 [303]	(+22%) (+2%)
営業利益	109	82	▲27 (▲25%)
営業利益率	20%	12%	▲8pt

第2四半期(4月～6月)の外部顧客売上高伸長率は前年同期比+4%

為替レート	2017年度1Q	2018年度1Q
1ドン	0.00495円	0.00475円

台湾は新築市場は下げ止まりが見られるが、セール期間のずれ等によって前年を下回る。  
ベトナムは新衛陶工場稼動に伴う減価償却費増により減益。

# 2018年度第1四半期決算概要

## 現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

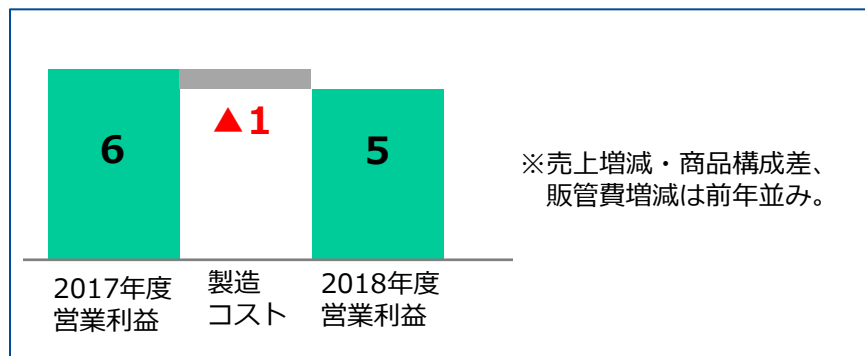
P / L

単位：百万ドル

	2017年度1Q	2018年度1Q	前年差 (前年比)
売上高	66	68	+2 (+2%)
営業利益	6	5	▲1 (▲24%)
営業利益率	10%	8%	▲2pt

### 営業利益の増減要因

単位：百万ドル



為替レート	2017年度1Q	2018年度1Q	2018年度計画
1ドル	113.6円	108.2円	106.0円

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は  
前年同期比+9%

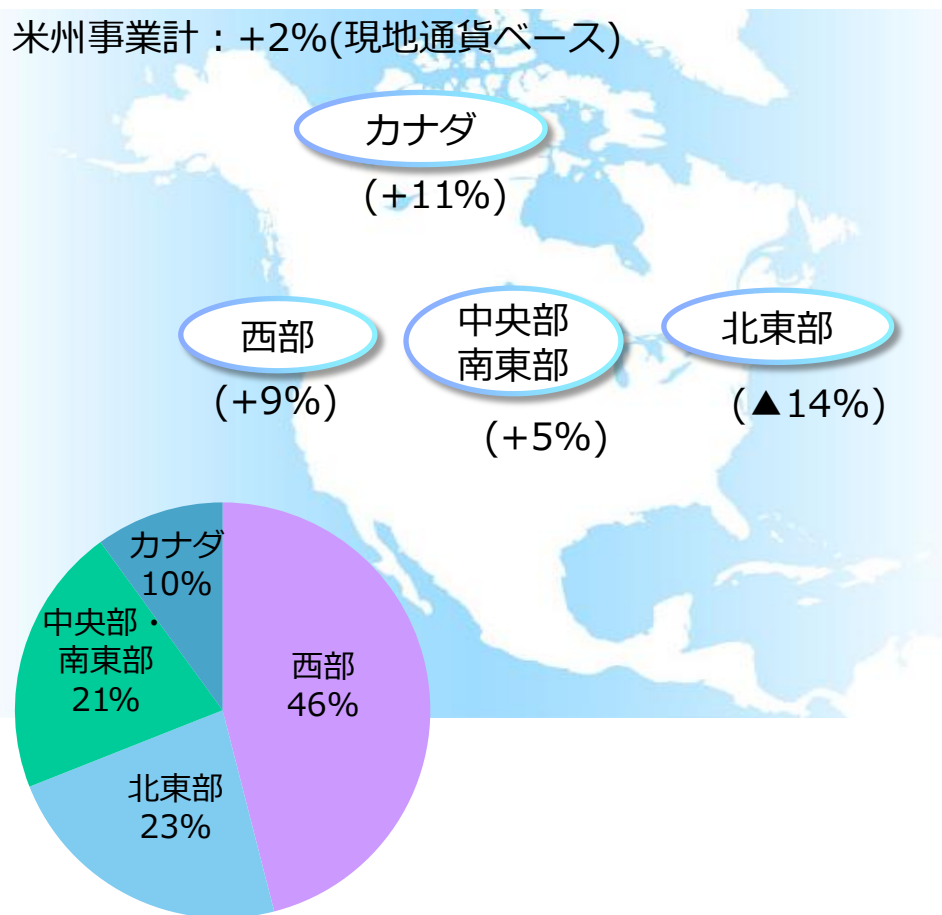
増収、製造コスト悪化により減益。

# 2018年度第1四半期決算概要

## 現地グループ会社の業績(米州)

### ■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+2%(現地通貨ベース)



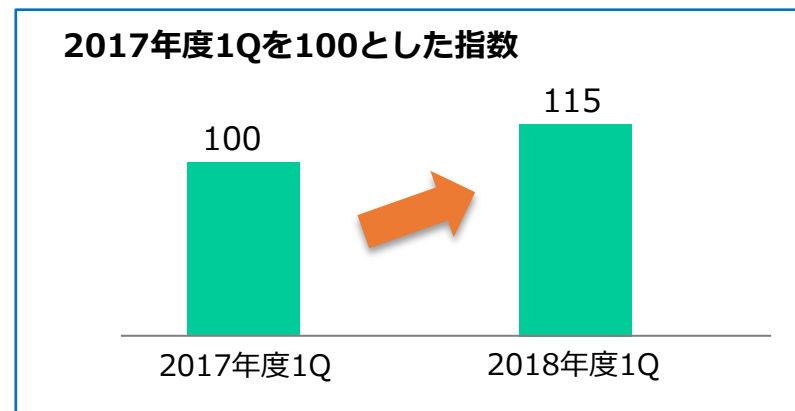
### ■ 地域別の売上高構成比

### ■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	▲5%
ウォシュレット	+15%
水栓金具	+10%

※衛生陶器：商品ラインナップ刷新のタイミングで一時的に下落

### ■ ウォシュレット：販売台数の伸長



ウォシュレットが引き続き伸長。

# 2018年度第1四半期決算概要

## 現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

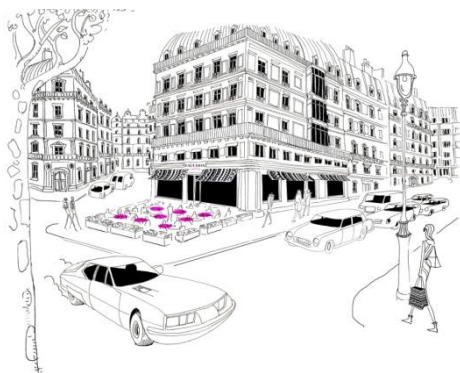
単位：百万ユーロ

	2017年度1Q	2018年度1Q	前年差 (前年比)
売上高	7	7	▲0 (▲1%)
営業利益	▲1	▲2	▲1

為替レート	2017年度1Q	2018年度1Q	2018年度計画
1ユーロ	121.1円	133.1円	133.0円

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同期比▲0%

### ■著名物件採用事例：フランス（パリ） Fauchon l'Hôtel Paris



パリのマドレーヌ広場に2018年9月オープン予定の「Fauchon l'Hôtel Paris」は、フランスの高級食品店「FAUSHON」が手がける初のホテル（5つ星）。ウォシュレット等が採用。

売上横ばい、減益。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

# 2018年度第1四半期決算概要

## 新領域事業

### セラミック事業

単位：億円

	2017年度1Q	2018年度1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	44	55	+11 (+27%)	▲2	+13 (+31%)
営業利益	1	2	+1 (+79%)	▲0	+1 (+87%)

### 環境建材事業

単位：億円

	2017年度1Q	2018年度1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	18	16	▲2 (▲12%)		▲2 (▲12%)
営業利益	▲2	▲1	+1		+1

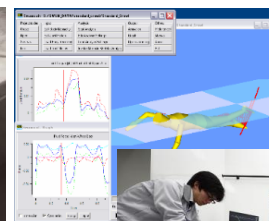
セラミック事業は半導体製造装置向けの商品が好調、増収増益。

## システムバスルーム/マンションリモデルバスルーム 「SYNLA (シンラ)」 8月1日発売



人間工学の研究から生まれた機能を搭載

ファーストクラス浴槽



人を包み込み支える新しい浴槽形状で、身体への負担が少なくリラックスした入浴を実現。

肩楽湯・腰楽湯



肩楽湯：大流量の幅広吐水で肩から温める。  
腰楽湯：ランダムな曲線で円を描くように噴出する水流で変化のある刺激が楽しめる。

デザインと機能が高度に融合。  
人間工学を元にリラックス・リフレッシュを追求。



# トピックス

## アジア最大規模の見本市「Kitchen & Bath China 2018」に出展

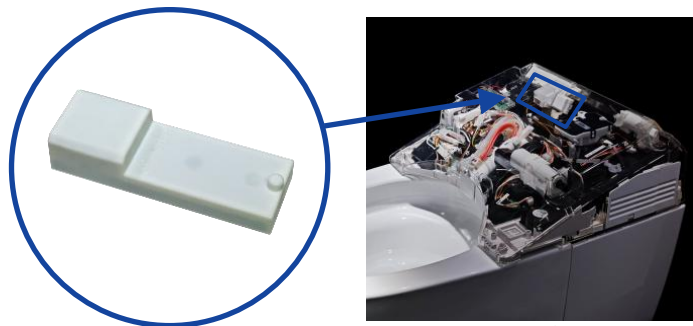


会期 : 2018年6月5日～6月8日  
場所 : 中国・上海  
来場者数 : 約17万人

**TOTOの技術力を訴求し、高級ブランドとしての存在感をアピール。**

## 社外からの評価

### ■ 「便座用マイクロ波センサの実用化」 第29回「電波功績賞」電波産業会会長賞受賞



便座用マイクロ波センサー

#### 評価ポイント

デザインと機能の融合を目指し便座の中に隠蔽して設置できる人体の移動を検出するセンサとして、ARIB標準に準拠した24GHz帯の電波を使用するマイクロ波センサに着目し、隠蔽設置しても安定したS/N性能が保て、高温高湿環境下でも安定して使用でき、トイレブースへの入退室、着座・離座を確実に検出出来るマイクロ波センサを実用化し、電波の有効利用に大きく貢献した。



#### 電波功績賞

主催：一般社団法人電波産業会

概要：電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げた個人又は団体を毎年表彰するもの。  
第29回電波功績賞は、総務大臣賞2件、電波産業会会長賞6件が選出。

### ■ 社会的責任投資指数 「FTSE4Good Index Series」 の構成銘柄に選定

<3年連続>



## FTSE4Good

社会的責任投資の世界的指数である  
「FTSE4Good Index Series」の  
構成銘柄に3年連続で選定（2018年7月発表）

### ■ 厚生労働省主催 「プラチナくるみん」の認定を取得



両立支援の制度の導入や利用が進み、高い水準の取り組みを行っている企業を認定する制度。  
「くるみん認定」を既に受けている企業の中から、選定される。

このプレゼンテーション資料は、2018年7月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

**TOTO**